

「日日是好日」

賀茂小学校長 小田加奈子

七月二日、ホタルの幼虫の餌となつたのですが、今年は、雨天と暑さのため七月になつてしましました。熱中症の心配もあつたので、出かける前に四年生の担任とは、「たくさんとれてもそれなくとも三十分で終わりにしよう」と決めて出かけました。途中放課後子ども教室ヨーディネーター林さんが様子を見に来てくださいました。林さんは、「以前に『今年はカワニナが少ない』と教えていただいていましたが、どうかはわかりません」でしめたが、それなりに見つけることができました。長靴の中に、用水の水が入つてしまつた子も何人もいましたが、体調不良者もなく戻つてこられたことはよかつたと思います。

六月中にホタルの幼虫を育てる環境づくりとして、水槽やその中に入れる石を洗つて干し、ろ過機をセッティングするなど準備を進めました。この日、学校に戻つてからも子どもたちは、とつてきたカワニナをきれいに洗つたり、生きているものとそうでないものを分別したり、カワニナの餌となるキャベツの保管場所の確認を行つたりと大忙しました。カワニナの飼育のスタートです。さて、今年は何匹のホタルの幼虫を放流することができるでしょうか。四年生のがんばりに期待します。

この日は、午前中に名古屋で開かれる会に参加するため、いつもより一時間遅く家を出て駅に向かうことにしました。車に乗り込みエンジンをかけ、「さあ出発！」というタイミングで駐車場前の歩道を右から歩いてくる男の子が視界に入りました。黄色い帽子をかぶった小柄な男の子、たぶん小学一年生なのでしょう。私が出発しようとしていることに気づいたその子は、私の車の前を通過するときに、なんと手を挙げたのです。しつかりと手を伸ばし、通過していました。びっくりすると同時にほほえましい姿でした。